



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場会社名 不二製油株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2607 URL http://www.fujioil.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 清水 洋史
 問合せ先責任者 (役職名) IR・広報部長 (氏名) 隈部 博史 (TEL) 072-463-1035
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 平成25年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	118,628	6.3	6,431	14.3	6,373	17.3	3,894	20.8
25年3月期第2四半期	111,593	△4.2	5,625	△6.5	5,433	△7.9	3,224	△18.5

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 8,928百万円(170.7%) 25年3月期第2四半期 3,298百万円(△16.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	45.30	—
25年3月期第2四半期	37.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	199,599	129,230	61.3	1,422.28
25年3月期	197,142	121,534	58.5	1,342.25

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 122,259百万円 25年3月期 115,380百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	12.00	—	13.00	25.00
26年3月期	—	13.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	264,800	14.1	16,000	13.1	15,600	12.7	9,400	12.8	109.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期2Q	87,569,383株	25年3月期	87,569,383株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	1,609,095株	25年3月期	1,609,010株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期2Q	85,960,329株	25年3月期2Q	85,960,500株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値とは異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気動向・企業収益は回復の兆しが見られ、株価も堅調に推移いたしました。貿易収支赤字・デフレの長期化・雇用環境の低迷等が継続し、不安定な経済情勢が続きました。また海外では、米国経済の回復が見られたものの、新興国の経済成長の鈍化が継続し、国内外で不透明な経済情勢が続きました。

当社グループを取り巻く国内食品業界では、消費者の低価格志向は依然強く、円安による原料価格上昇を含め、厳しい事業環境が続きました。

この様な状況の中、当社グループは中期経営計画「Global & Quality 2013」を掲げ、「グローバル経営の推進」「技術経営の推進」「サステナブル経営の推進」を方針として、顧客ニーズに即した製品開発、高機能素材の供給、生産コストの削減に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は1,186億28百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益は64億31百万円（前年同期比14.3%増）、経常利益は63億73百万円（前年同期比17.3%増）、四半期純利益は38億94百万円（前年同期比20.8%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(油脂部門)

国内では、ヤシ油・パーム油等の主要原料価格下落による販売価格低下と、ヤシ油・パーム油・調合油・チョコレート用油脂の販売数量減少により、減収・減益となりました。

海外では、チョコレート用油脂は、欧米の販売数量の増加により増収となりました。同部門の海外は、円安による円換算価格の増加も寄与して増収・増益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は477億96百万円（前年同期比9.2%増）、セグメント利益（営業利益）は17億36百万円（前年同期比39.2%増）となりました。

(製菓・製パン素材部門)

国内では、業務用チョコレートは、洋生チョコの販売が減少しましたが、スイートチョコ・アイスコーティングチョコ・カラーチョコの販売が増加して、増収となりました。クリームは、デザート・飲料向けが好調に推移して増収となり、フィリングはパン用の販売が増加して、増収となりました。調製品では、粉乳調製品の販売が増加し、増収となりました。製菓・製パン素材部門の国内全体は、増収・増益となりました。

海外では、業務用チョコレート、クリーム、マーガリン・ショートニングの東南アジアでの販売が好調に推移して増収・増益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は515億40百万円（前年同期比4.0%増）、セグメント利益（営業利益）は41億84百万円（前年同期比16.4%増）となりました。

(大豆たん白部門)

大豆たん白素材は、冷食・惣菜・健康食品・発酵培地用途が増加して増収となりましたが、円安による原料価格上昇の影響を受けて採算が悪化しました。大豆たん白機能剤は、飲料・発酵培地用途・輸出が増加して、増収となりました。大豆たん白食品は、即席麺用途が減少しましたが、中国での販売が増加して増収となりました。大豆たん白部門は、全体では増収となりましたが、大豆たん白素材の採算悪化の影響により大きく減益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は192億90百万円（前年同期比5.8%増）、セグメント利益（営業利益）は5億11百万円（前年同期比34.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ24億57百万円増加し、1,995億99百万円となりました。

主な資産の変動は、現金及び預金の減少23億47百万円、受取手形及び売掛金の減少14億50百万円、たな卸資産の増加39億24百万円、有形固定資産の増加16億3百万円であります。

有利子負債（リース債務は除く）は、前連結会計年度末に比べ6億8百万円減少し、364億32百万円となりました。

主な純資産の変動は、剰余金の配当11億17百万円と四半期純利益38億94百万円により利益剰余金が27億77百万円増加したこと、その他の包括利益累計額の41億1百万円の増加等であります。

この結果、自己資本比率は61.3%、1株当たり純資産は1,422円28銭となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ21億93百万円減少、前第2四半期連結累計期間末に比べ34億73百万円増加し、166億44百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で21億1百万円減少し、30億66百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益63億22百万円、減価償却費42億92百万円、売上債権の減少額34億18百万円等による収入が、仕入債務の減少額53億76百万円、たな卸資産の増加額16億8百万円、法人税等の支払額30億75百万円等の支出を上回ったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で3億52百万円支出が減少し、28億66百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出27億81百万円等があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で22億49百万円減少し、34億44百万円の支出となりました。これは主に、短期借入金による資金調達額の純減少額14億88百万円、長期借入金の返済による支出6億37百万円、配当金の支払額11億17百万円による支出等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月9日発表の通期業績予想は修正しておりません。今後の事業環境の変化を見極めた上で、見直しの必要がある場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,136	16,789
受取手形及び売掛金	46,964	45,514
商品及び製品	18,458	21,026
原材料及び貯蔵品	18,183	19,539
繰延税金資産	874	1,327
その他	3,318	3,191
貸倒引当金	△115	△132
流動資産合計	106,819	107,255
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	28,994	29,375
機械装置及び運搬具(純額)	27,332	28,424
土地	15,940	15,976
建設仮勘定	851	913
その他(純額)	1,189	1,223
有形固定資産合計	74,309	75,912
無形固定資産		
投資その他の資産	1,530	1,575
投資有価証券	11,851	12,085
繰延税金資産	186	269
その他	2,648	2,698
貸倒引当金	△204	△198
投資その他の資産合計	14,482	14,855
固定資産合計	90,322	92,343
資産合計	197,142	199,599

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,061	19,174
短期借入金	23,331	23,221
1年内償還予定の社債	20	20
未払法人税等	3,215	2,354
賞与引当金	1,760	2,180
役員賞与引当金	104	—
その他	6,163	5,537
流動負債合計	57,656	52,487
固定負債		
社債	5,020	5,010
長期借入金	8,668	8,181
繰延税金負債	1,129	1,489
退職給付引当金	2,281	2,328
役員退職慰労引当金	28	26
その他	822	845
固定負債合計	17,950	17,881
負債合計	75,607	70,368
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,208	13,208
資本剰余金	18,324	18,324
利益剰余金	88,905	91,682
自己株式	△1,746	△1,746
株主資本合計	118,692	121,469
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,781	3,035
繰延ヘッジ損益	565	△36
為替換算調整勘定	△6,658	△2,208
その他の包括利益累計額合計	△3,311	790
少数株主持分	6,154	6,970
純資産合計	121,534	129,230
負債純資産合計	197,142	199,599

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	111,593	118,628
売上原価	91,232	96,294
売上総利益	20,361	22,334
販売費及び一般管理費	14,736	15,902
営業利益	5,625	6,431
営業外収益		
受取配当金	115	106
為替差益	7	102
その他	124	249
営業外収益合計	247	459
営業外費用		
支払利息	263	239
持分法による投資損失	42	152
その他	133	124
営業外費用合計	439	517
経常利益	5,433	6,373
特別利益		
投資有価証券売却益	141	—
特別利益合計	141	—
特別損失		
固定資産処分損	31	51
減損損失	346	—
特別損失合計	377	51
税金等調整前四半期純利益	5,196	6,322
法人税、住民税及び事業税	1,975	2,174
法人税等調整額	△151	28
法人税等合計	1,823	2,202
少数株主損益調整前四半期純利益	3,372	4,119
少数株主利益	148	225
四半期純利益	3,224	3,894

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,372	4,119
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△103	254
繰延ヘッジ損益	△439	△602
為替換算調整勘定	462	5,042
持分法適用会社に対する持分相当額	5	114
その他の包括利益合計	△74	4,809
四半期包括利益	3,298	8,928
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,080	7,996
少数株主に係る四半期包括利益	217	932

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,196	6,322
減価償却費	4,144	4,292
退職給付引当金の増減額(△は減少)	128	13
受取利息及び受取配当金	△136	△148
支払利息	263	239
減損損失	346	—
売上債権の増減額(△は増加)	424	3,418
たな卸資産の増減額(△は増加)	53	△1,608
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,494	△5,376
その他	△593	△904
小計	7,333	6,250
利息及び配当金の受取額	136	149
利息の支払額	△272	△258
法人税等の支払額	△2,029	△3,075
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,167	3,066
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,576	△2,781
連結子会社の出資持分売却による収入	753	—
連結子会社株式取得による支出	△900	△4
関連会社株式取得による支出	△382	—
その他	△111	△81
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,218	△2,866
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△326	△1,488
長期借入れによる収入	1,000	—
長期借入金の返済による支出	△700	△637
社債の償還による支出	△10	△10
配当金の支払額	△1,031	△1,117
その他	△126	△191
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,195	△3,444
現金及び現金同等物に係る換算差額	73	1,051
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	827	△2,193
現金及び現金同等物の期首残高	12,231	18,837
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	112	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,171	16,644

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆たん白製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆たん白」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆たん白」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	油脂	製菓・製 パン素材	大豆たん白	計		
売上高						
外部顧客への売上高	43,781	49,576	18,235	111,593	—	111,593
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,421	172	261	5,855	△5,855	—
計	49,203	49,749	18,496	117,449	△5,855	111,593
セグメント利益	1,247	3,593	784	5,625	—	5,625

(注) セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位:百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客に対する売上高	79,215	18,339	7,708	6,330	111,593	—	111,593
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35	15,521	211	5	15,773	△15,773	—
計	79,251	33,860	7,919	6,335	127,367	△15,773	111,593
セグメント利益又は損失(△)	4,768	876	△55	160	5,750	△125	5,625

(注) 1 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

- 2 各区分に属する主な国又は地域…アジア:シンガポール、マレーシア、中国、フィリピン、インドネシア、タイ
米州:米国
欧州:ベルギー

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆たん白製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆たん白」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆たん白」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	油脂	製菓・製 パン素材	大豆たん白	計		
売上高						
外部顧客への売上高	47,796	51,540	19,290	118,628	—	118,628
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,717	356	273	6,348	△6,348	—
計	53,514	51,897	19,564	124,976	△6,348	118,628
セグメント利益	1,736	4,184	511	6,431	—	6,431

(注) セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位:百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客に対する売上高	79,852	22,305	8,880	7,589	118,628	—	118,628
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	16,869	348	14	17,250	△17,250	—
計	79,870	39,175	9,229	7,603	135,878	△17,250	118,628
セグメント利益	5,010	1,508	69	90	6,679	△247	6,431

(注) 1 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

- 2 各区分に属する主な国又は地域…アジア:シンガポール、マレーシア、中国、フィリピン、インドネシア、タイ
米州:米国
欧州:ベルギー